

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第25回 2020年6月)



いささか季節はずれの話になるが、食いしん防がフルーツでいちばん美味しいと思っているもの、それはイチジク！

食いしん防が生まれ育ったまちは、知る人ぞ知るイチジクの名産地。いつもイチジク畑の中にあるあぜ道をつきつて小学校に通ってました。イチジクが実る季節になると、それを狙って鳥たちが群がってくる。彼らも美味しいのがわかっているのだ。食べられないために、畑には鳥を追い払う装置が仕掛けられていた。15分おきくらいに「ドカン！！」ともものすごい大音響がとどろくのだ。録音などではなく本物の火薬の爆発だ。

子ども時代の食いしん防は、デカい音が苦手であった。背後から忍び寄ってきた悪友に「わっ！」と驚かされたりしたら、冗談ぬきで心臓が止まりそうになった。子どもは残酷なので、一度でも腰を抜かそうものならしつこく同じことをやられる。あくまでも「ふっ、ちょっとびっくりしたけど、たいしたことないぜ」という虚勢をはらねばならない。それなのに、地雷原のようなイチジク畑を歩いていかねばならない……。



いつ鳥おどしの音が鳴るかと気にしながら歩くのは、ホラー映画なみの恐怖だった。

話をもとに戻すと、故郷のまちは大阪圏にあって、これらのイチジクを料亭などに出荷していた。イチジクは日持ちがしない。とりわけ完熟近くで収穫したものは、その日のうちに食べなければならなかった。早朝に出荷した後、農家は料亭に出せないワケあり品（ちょっと割れていたりするもの）を軽トラに積んで近所に売りに来た。料亭レベルの大粒イチジクが驚きの安さ！ それを我が家では（短いシーズン中ではあるが）しょっちゅう食べられたのだ。



木で完熟したイチジクがどれほど美味しいか。ほっぺが落ちるとはこのことか、とうっとりする。ただ味が良いだけではない。皮を剥いたら（簡単に剥ける！）まるごとガブッと食べられるのだ！ そんなことができるのは他にバナナと種なしスイカだけ。この快感に匹敵するのは、冷やした完熟桃にかぶりつくことくらいしかない。（ただしあちらには種があるし、服も汚れる。）

おそらくバナナも、南米とかフィリピンの木で完熟したのを食べたらものすごく美味しいのだと思う。基本的に、果物も野菜も地元でとれたものが最高なのだ。青いうちに収穫して長い距離を運ばれたものは、本来の味ではなくなる。イチジクに限らず、地元産の新鮮なものを食べられるのが幸せであり贅沢なのだ。

そういう意味で、今一番のおススメは愛東メロンだ！ ひょっとすると今年はコロナの影響で例年より長く木で熟しているのかもしれない。とにかくとんでもない甘さ、美味しさだ！ おつかいものにするだけではもったいない。自分たちの口に入れるべし！

愛東メロン美味し！



←愛東メロンのキャラクター、メロンマン。
正体は愛東まち協の事務局長！



TOPICS

☆コロナ下の防災は・・・？（その2）

新型コロナの状況下でも、災害はいつ襲ってくるかわからない。ということで、「もし今災害にみまわれたらどう対応するか」の第2回は地震篇。

もし今、東近江地域で直下型の大地震が起きたとして、大勢が集まる避難所に行ってもいいものか……そんな心配をしている方がおられるのでは。避難所はどう見ても「3密」ですもんね。



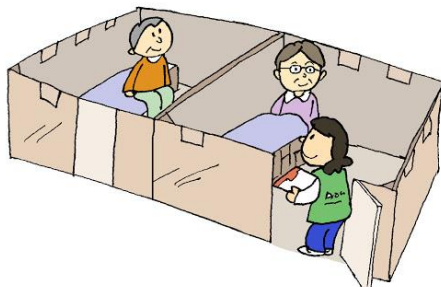
選択肢は大きく2つ。①避難所に行く ②自宅にとどまる 避難所に行けば、新型コロナに感染する危険がある。自宅が無事であれば、とどまっている方がいいのでは、と思いますよね。

まず考えてほしいのは、「地震の後に、なぜ避難所へ行くのか」ということ。主な理由は2つある。大地震の後には必ず余震が続く。本震とほとんど変わらないほどの揺れが繰り返し襲ってくることも。そんな時に、耐震性の低い自宅にとどまっているのは危険。本震では無事でも、余震で倒壊することもある。もう1つの理由は、救援物資は避難所に届くので、そこにいないと受け取りにくい。

この2点を考慮した上で、避難所に行くか自宅にとどまるかを選択すべきでしょう。自宅が倒壊の恐れが少なく、生活に必要な物資がしっかり備蓄されているなら、避難所に行く必要は薄い。しかし自宅にとどまって命の危険を招くようなら、できるかぎりの感染対策をとって避難所にいる方がいいかもしれません。

もう1つ、第3の選択肢として「車で避難所に行って車中泊する」があります。両者のいいとこ取りができそうだが、エコノミー症候群などで健康をそこなうリスクがあります。

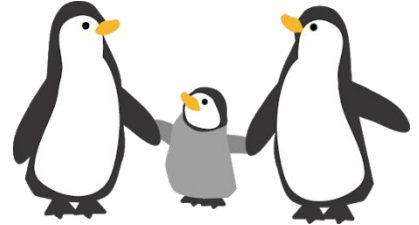
完璧な正解というのはありません。その時々状況に応じて最善の方法を選択するしかない、というのが食いしん防の結論です。自分ならどうするか事前に考えて（家族で話し合って）おくのも大切です。



今後の活動予定

6月27日 災害支援市民ネットワークしが研修会に参加
未定 そろそろ「こと防」も活動開始できるかな……？

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：地震の時の第4の選択肢を思いつきました。家族のだれか1人が避難所に行き、残りは自宅にとどまるのはどうでしょう。避難所の1人が救援物資を持ち帰るのです。

A：ムム、考えましたね。たしかペンギンの子育てがそんな方式でした。親の片方が猫に出て食糧を持ち帰り、別の親が安全な場所で子を守るのです。餌を獲るペンギン、じゃなかった避難所へ行った人が外で救援物資の受け渡しをすれば、なお感染リスクは減らせますしね。いいんじゃないですか。餌を獲るペンギン役の人は寂しいけどね。



Q：イチジクよりやっぱりメロンの方が美味しいと思います。種を取った後、分厚くカットしたメロンにかぶりつく快感に勝るものはないのでは？

A：ほう、喧嘩を売ってるんかい。特に「分厚くカットした」というくだり。そりゃ我が家じゃ薄く切ったメロンしか食べたことないですよーだ。生きてる間に1度でいいから……ううっ……分厚いメロンを……ひっく……食べてみたい……うえええん、貧乏なんて嫌いだぁーッ！！

楽しい質問、お待ちしております！



(文責：こじまっちょ)

